

【鎌倉アルプス】

鎌倉アルプスは平日にも係わらずハイカーは多い。鳥の声は盛んにすれども姿は見つからない。野鳥の会の会員という方に教えてもらい、やっと見つけられる。

トンビが2・3羽舞う大平山直下の広場ではハイカーが、ゆったりまったりと昼食を採っている。

トンビが急降下し何かを持ち去っていく。辺りは一変し騒がしくなっている。油揚げなめパンをさらわれていた。大空ではカラスがおこぼれを貰おうと鳶を追いかけている。私たちのみが取り残されるとトンビも立ち去り雀も出てきて落ち着いた雰囲気になる。

瑞泉寺の梅は、光琳の『紅白梅図屏風』のように老木で苔むし？ている。が、一本の黄梅の他はまだほんの数本しか咲いていない。そのためこの時期は訪れていた方は少なく静かである。



椿の花には蜜を求め数羽のメジロが忙しなく飛び回っている。



上空をトンビが舞う小町通りは観光客などで混雑している。と、けたたましい鳥の声。何かをくわえたカラスが、横取りしようとするトンビから逃げ切り枝に止まった。食べ物を包んでいたと思われる紙切れがヒラヒラと落ちてくるがもうトンビも見向きもせず、人間の声だけのいつもの界限に戻っていた。

◆ 2月10日

◆ S々木(雅)、G藤、TK、他1名